

北区岩淵周辺地区かわまちづくり計画（案）パブリックコメント実施結果

1. パブリックコメントの概要

- （１）意見募集期間：令和7年3月10日（月）～令和7年4月10日（木）
- （２）周知方法：北区ニュース（3/10号）、北区ホームページ、北区公式SNS（Facebook、X、LINE）
- （３）閲覧場所：北区ホームページ、まちづくり推進課、区政資料室、各地域振興室、各区立図書館
- （４）意見提出者数：5名（内訳）ホームページ：3名、窓口：3名
- （５）意見件数：23件

2. 提出されたご意見の内容とそれに対する区の考え方

意見の要旨		区の考え方
（１）計画の対象地域について		
1 (修正)	計画の対象地域について町丁名でわかりやすく示してほしい。	ご意見をふまえ、対象エリア（10頁）の記載の見直しをいたします。
（２）協議会等でのご意見について（21～22 頁）		
2	かわまちづくり計画協議会、中学生モニター、小学生アンケートの他に、昨年11月に行われたばかりの「荒川将来像計画地区別計画（北区編）（原案）」のパブコメにて提出された意見も掲載すべきである。本計画で対象エリアになっている、赤羽岩淵ブロックに関する意見の中に「かわ」の魅力や課題についての意見が数多く提出されているため、協議会意見と同様の整理をし、同等に扱って頂きたい。	「荒川将来像計画地区別計画（北区編）」は、かわまちづくり計画の上位・関連計画として、パブリックコメントの結果も参考とさせていただきます。
3	協議会関係者の方々は、北区立中央図書館発行「北区の歴史はじめての一步 赤羽東地区編改訂版」を一読されていると認識しているが、再度読み返していただければ、岩淵の魅力を再確認できると思う。	ご意見は、今後の参考とさせていただきます。

(3) かわまちづくりにおける基本方針について (25～26 頁)		
4	かわまちづくりの大前提として、河川法の目的である「治水・利水・環境」に即することが必要であり、基本方針も交流やにぎわいに関するものだけでなく、治水・防災や自然環境の視点を踏まえた方針を独立して設けるべきである。p26 の「かわまちづくりのビジョン」にも「自然とふれあい」のフレーズがある通り、特に自然環境は重要な方針の1つである。 具体的には、基本方針1の「釣りなど水面や河川敷利用」、基本方針4の「防災教育、水辺での安全な過ごし方や環境学習の充実」など、交流やにぎわいとは異なる視点の内容をまとめ、1つの基本方針として独立させてはどうか。	にぎわい創出・観光拠点化の推進により多くの利用者が集まることから、河川敷利用における安全性の確保とともに、自然地の魅力を体感いただけるような環境の確保が必要と考えております。ご意見をいただいた、治水・防災や自然環境の視点を踏まえた取組みの推進においては多様な主体との連携による取組みの推進が必要となるとの観点から、公民連携の取組みも視野に、基本方針4において示しております。
(4) にぎわい創出ゾーンについて (31 頁)		
5	青水門先の河川敷は「自然地」と記載されている。このエリアは荒川将来像計画で自然系ゾーンに位置付けられ、水際には干潟があることから、計画通り自然地として整備・活用をお願いしたい。	ご意見を参考に、今後の対応を検討してまいります。
(5) レクリエーションゾーン (33 頁) について		
6 (修正)	ドッグランはどこに整備されるのか。位置がわかりにくい。	ドッグランについては、かわまちづくり計画に先行して整備されるものですが、対象エリアにある施設として、33 頁のレクリエーションゾーンに位置を明示しております。
7 (修正)	「ドッグラン」の文字が北区・子どもの水辺の菖蒲田の上に記載されているが、菖蒲田付近に設置されとの誤解を招くので、新荒川大橋直下に設置されることがわかるような表記にすべきである(例：文字は水面上に表記し、そこから橋下に矢印を伸ばす)。	「ドッグラン」の表記につきましては、ご意見をふまえ、記載の見直しをいたします。
8	岩淵橋から堤防に登る「階段の改修」が計画されているが、この階段は急で歩行者動線としては適切でない。階段の右側に坂路があるため、坂路踊場から堤防に登る踏み跡に階段を整備してほしい(これが、岩淵橋から赤水門方面へ向かう動線として最適だからこそ、踏み跡ができています)。	「階段の改修」につきましては、ご意見を参考に、今後の対応を検討してまいります。

(6) 回遊・まちめぐりゾーン、環境学習ゾーン、スポーツゾーン（34 頁）について		
9 (修正)	「環境学習ゾーンの概要」に「・・・子どもを対象とした水辺での安全な過ごし方・・・」との記載があるが、ここを環境学習で利用するのは子どもに限らず、中高生～高齢者まであらゆる世代が利用し、北区・子どもの水辺協議会ではすべての世代を対象にサポート活動を行っている。よって「子どもを対象とした」は削除すべきである。	「環境学習ゾーンの概要」部分の記載につきましては、ご意見をふまえ、「子供を対象とした」を削除します。
10	スポーツゾーンは、荒川将来像計画では「イベント・スポーツ・レクリエーションでの適切な河川利用を促進」と記載されており、過去の荒川市民会議で「野球以外のイベントでも使えるようにすべき」との議論があったことを踏まえている。赤羽岩淵駅からのアクセスが良く、敷地も広いこのゾーンこそ「民間事業者の活用が考えられる空間」として位置づけ、イベント等での民間活用を推進して頂きたい。	スポーツゾーンは、スポーツやレクリエーションを通じた交流・振興を図るゾーンとして区分しております。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
(7) まちのエリア（まち歩き・回遊ゾーン）での取組みについて（35 頁）		
11 (修正)	赤羽岩淵駅から新荒川大橋へ向かう国道 122 号は、荒川河川敷、特にスポーツゾーン（野球場）や環境学習ゾーン（北区・子どもの水辺）へ向かうメインルートで、多くの河川敷利用者がここを通行している。北区バリアフリー基本構想の「主要な生活関連経路」にも位置づけられ、バリアフリー化が進められている経路でもある。図には「駅からのルートの一例」として矢印を追加願いたい。	アクセスルートにつきましては、ご意見をふまえ、記載の見直しを行います。
12	赤羽駅北側の高架下に「赤羽イノベーションサイト」が本年 1 月にオープンし、観光 PR コーナーも入っている。まち歩き・回遊の情報提供ステーションとして位置づけて頂きたい。	観光 PR コーナーは、まち歩き・回遊の情報を提供する場としての活用に取り組んでおります。 計画を踏まえた今後の連携については、引き続き検討してまいります。
13	赤羽駅から荒川までの誘導だが、赤羽駅の観光 PR コーナーを活用してはどうか。	ご意見をふまえ、今後の連携について検討してまいります。

(8) かわまちづくりの推進体制について (40 頁)		
14	推進主体の「(仮称) 北区岩淵周辺地区かわまちづくり協議会」と、「協働」で囲まれている「北区・地域住民・民間事業者」の間を結ぶ「参画」のイメージが不明である。河川敷を利用する、あるいは利用を検討している民間事業者や区民団体は誰でも、この協議会に参加できるようにし、お互いにトラブルのないように各種調整を図ることが必要と考える。	ご意見を参考に、ワークショップ等を通じ、多様な主体が取り組みへの参画がしやすい仕組みづくりを進めてまいります。
(9) 定量的目標について (45 頁)		
15	赤羽岩淵・志茂エリアにどれくらいの人が住んでいて、日常どれくらいの人が移動しているのか、遠方から車で来る人はどれくらいいるのか、レクリエーションや BBQ、スポーツ等、河川敷を年間どれくらいの人利用しているのか、数値的な目標が示されている方がよい。 かわまちで魅力を作る場合、人をもっと川に近づけて親しみを持ってもらうのと、遠方から人を集める手法とがある。手法によりやるべきことや施設整備が変わってくると思う。	定量的目標については、45 頁でお示しのとおり設定しております。 また、計画におけるターゲットや取り組み方針については、計画協議会での意見や小学生アンケート、中学生モニターでの意見をもとに取りまとめておりますが、取り組みの推進にあたり、引き続き地域の皆さまからの意見交換の機会等を通じて、よりよい計画の実現を目指してまいります。
(10) 計画全般に関するご意見		
16	地域性が高い計画であるため、駅や公共施設の掲示板を活用するなど、地元への周知が重要である。	周知方法については、実施手法を工夫するなど、丁寧な対応に努めてまいります。
17	スポーツをする側の視点での意見も反映した方がよい。	北区スポーツ推進計画と連携しながら、取り組みの検討を進めてまいります。
18	北区岩淵周辺地区かわまちづくり計画の YouTube が、非常に分かりやすく、見やすく (色分け、画像の添付)、内容が頭に入ってきやすかった。	ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
19	トイレ・日影・ベンチの充実、トイレと日陰はゾーニングフィールドごとに作ってほしい。環境整備は住民にとっても観光客にとっても、遊びに来る人にとっても利用したくなる有益なポイントである。トイレの綺麗さも施設の利用に大きく影響する。	ご意見は、今後の参考とさせていただきます。

20	観光客や利用者を増やすならスポーツ広場をもっと利用してよいのでは。スポーツ（球技）は都内にできるところが少ないのが現状で、ニーズはある。	ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
21	ドッグランもニーズが高く、利用料を高め設定しても、集客は見込めるのではないかと。バーベキューや釣りよりスポーツができる広場や遊具がある方が集客が期待できるのではないかと。訪れる人の目的が明確にないとアクセスの悪いところに人は集まらない。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
22	利用客が増えれば、当然ゴミが増えたり、川が汚れてしまうので、清掃員を置く、ゴミ箱を目につくところにできる限り置くなどの配慮もしてもらいたい。子供が川から学ぶことは多いので、川を大切にきれいに保つことも大切である。	ご意見を参考に、今後の対応を検討してまいります。
23	赤羽岩淵ブロック・全体方針（東京の北の玄関口としての水辺環境整備、治水の歴史を感じるランドマークとしての空間整備）や、15 頁のかわの課題などを踏まえ、新河岸川庭球場・岩淵交番を再整備して「岩淵地区の川を渡る場所にランドマーク的施設の設置」を提案する。 ○安全・防災系 ・交番機能・突然の荒天時、河川敷の人たちの避難場所機能 ・日陰・休憩場所機能・防災船着き場の機能（他の防災船着き場と連携） ・防災訓練等を含む地元のイベント会場 ・地震（河川敷へ）・水害時（台地へ）の避難誘導機能 ・帰宅困難者支援機能（四岩小・岩淵小などと連携） ・岩淵交番付近の危険な場所（狭い幅員・坂道等）を改善（北区荒川市民会議で検討したが改善できず） ○観光系 ・「北の玄関口」的看板を掲示・バス停の復活 ・飲食提供機能（キッチンカー営業可）	ご意見は、今後の参考とさせていただきます。

・岩淵ゆかりの商品の開発・販売 ・岩淵周辺の紹介・岩淵の回遊・まちめぐり(34 頁)の拠点機能 ・荒川・新河岸川・隅田川における下流へのスタート地点・下流からのゴール地点の拠点機能 ・河川敷イベントにおける運営支援拠点機能 ・トイレ・着替え場所機能(河川敷利用者・ジョギング・サイクリング等) ・岩淵の歴史を伝える 鎌倉時代から続く川を渡る宿場町としての岩淵宿関があった(岩淵関緑地の由来)交通の結節点(日光御成道・岩淵神谷道(志茂の旧道)・岩淵白子道・岩淵調布道・奥大道)その他(石神井用水・岩淵五ヶ村・岩淵河岸・下肥・舟運・水連場など) ※北千住の千住宿(ジオラマの展示等)の施策が参考になるかもしれない。 ○その他 ・庭球場機能 ・河川敷施設(北区・子どもの水辺・スポーツ施設)補完機能(倉庫等) ・他施設との連携 (荒川知水資料館(amoa)・赤羽駅北区観光PRコーナーなど)	
---	--